

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-10	高等学校	国語	古典A	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古A 315	古典A 物語選 改訂版		

1. 編修の基本方針

- 古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てることができるよう配慮する。
- 豊かな情操と道徳心を培うことができるよう、物語作品および物語性の高い古典作品を中心として適切に収録する。
- 教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、高校生の興味・関心を喚起する物語性の高い古典作品を中心として適切に取り上げ、様々な時代の人々のものの見方、考え方、感じ方について理解を深められるよう配慮する。
- 教材化にあたっては、古典と現代とのつながりを理解しつつ、言語活動や課題の探究を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
【古文編】 1 説話 ——昔物語の世界 今昔物語集 宇治拾遺物語 十訓抄	○古文を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ることができるとし、物語の萌芽ともいえる説話教材3作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.7-18
2 随筆 ——思いつくまに 枕草子 方丈記 徒然草	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、古人の思索が込められた随筆教材3作品を収録した。(第1号) ○自然の美しさを語る『枕草子』などの作品を収録し、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるよう配慮した。(第4号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.19-44
3 物語(一) ——物語の始まり 竹取物語 伊勢物語 大和物語	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材3作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.45-60
4 物語(二) ——物語の開花 源氏物語 大鏡	○真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材2作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.61-110
5 物語(三) ——物語の展開 平家物語 西鶴諸国ばなし 雨月物語	○古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、物語教材3作品を収録した。(第1号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.111-132
6 日記 ——自己を見つめる 土佐日記 蜻蛉日記 和泉式部日記 紫式部日記 更級日記 十六夜日記	○古典に関する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うことをねらいとし、日記教材6作品を収録した。(第1-5号) ○個人の価値を尊重し創造性を培うことをねらいとし、幅広い内容の章段を収録した。(第2号) ○我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号)	pp.133-154

【古典に親しむ】 春と秋—古典歳時記 日本語に生きる漢語	○古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うことをねらいとし、古典に関連する近代以降の文章 2 作品を収録した。(1・5 号)	pp.155-164
【漢文編】 1 故事・逸話 —古人の知恵 知音 画竜点睛 漱石枕流 不死之薬 売油翁	○幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代にも生きることばの背景がわかる故事・逸話を 5 作品収録した。(第 1 号) ○比較的短い文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.165-172
2 史伝 —英雄の物語 鴻門の会 項王の最期	○当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史伝教材 1 作品を収録した。(第 1 号) ○歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) ○中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.173-188
3 漢詩 —自然と人生 竹里館/秋浦歌/江南春/春夜/送友人/月夜/咸陽城東樓/桃夭/石壕吏	○想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、近体詩と古体詩をあわせて 9 首収録した。(第 1 号) ○自然を詠み込んだ漢詩を収録し、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるよう配慮した。(第 4 号)	pp.189-198
4 物語 —不思議な世界 定伯売鬼 桃花源記	○真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとし、物語 2 作品を収録した。(第 1 号) ○我が国でも親しまれた陶潜の名作を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号)	pp.199-208
5 思想 —古代の思索 孔子と門人たち 人の性 自然への回帰 法治の思想	○幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典思想の主要な書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』4 章、『孟子』1 章、『荀子』1 章、『老子』1 章、『莊子』1 章、『韓非子』1 章を収録した。(第 1・5 号) ○人間のあり方や理想の社会などをさまざまな立場から考察する教材を収録し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号)	pp.209-222

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 古典に親しむための資料や図版を図録としてまとめた。その際、課題について探究しながら古典と現代とのつながりへの理解をさらに深められるよう配慮した。
- 図録には、古文の主要人物の関係がわかるような図を掲載し、生徒が古文の世界を概観できるように配慮した。また、その他の資料も、わかりやすいように「古文の舞台」「貴族の暮らし」「漢文の舞台」などのテーマごとに配し、説明に模型や写真を多用して、生徒が古典の世界を視覚的かつ具体的にイメージできるように配慮した。
- 古文編と漢文編を通して、関連する名称・事項等に索引を設け、相互に参照することで作品に対する理解や関心が深められるよう配慮した。
- 「百人一首」を掲載し、朗読や暗唱、伝統文化の理解に資するよう配慮した。
- 古典作品の背景を解説したコラム「古典の窓」を適宜配置し、古典作品の文化的価値や後世への影響について考えを深められるよう配慮した。
- 収録作品からの「展開」として、後世への影響および我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深められる作品や芸能などを紹介し、古典を読む楽しさを味わえるよう配慮した。
- 全単元の扉に文学史年表を掲載し、その単元で扱う作品の成立時期が視覚的にとらえられるよう配慮した。
- 古人の生活の中で、あるいは物語の中で和歌がどのような役割を果たしていたのかがわかるよう、収録作品中に出現する和歌の索引を設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-10	高等学校	国語	古典A	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	古A 315	古典A 物語選 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てることができるよう配慮した。

●構成

- 1 扱いやすさを考え、全体を古文編・漢文編の2編に分けた。
- 2 これまでの高等学校学習指導の継続性を考慮して、単元構成はジャンル別とした。配列は、文学史の流れがわかるよう成立順とした。

●教材選択にあたっての配慮

教材は、物語作品および物語性の高い古典作品を中心として適切に取り上げ、伝統的な言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度をはぐくむよう配慮した。

●教材化の工夫

- 1 教材化にあたっては、古典と現代とのつながりを理解しつつ、言語活動や課題の探究を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮した。
- 2 古文編と漢文編を通して、関連する名称・事項等に索引を設け、相互に参照することで作品に対する理解を深め、また我が国の文化と中国の文化との関係の理解に資するよう配慮した。
- 3 脚注、注意する語句、設問などを適切に付した。脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」、漢文の句法についての説明には「句法」の記号を付け、参照しやすいよう配慮した。また、本文中の重要古語、訓読で注意する文字に印を付けた。
- 4 教材を学習する上での手がかりとして、「学習のポイント」「言語活動」「単元課題」などを設け、その教材の学習を実践的に行うことができるよう配慮した。

●コラムの充実

- 1 収録作品からの「展開」として、後世への影響および我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深められる作品や芸能などを紹介するコラムを設け、古典を読む楽しさを味わえるよう配慮した。
- 2 古典の教材理解に役立つ背景知識をまとめたコラム「古典の窓」を収録した。

●付録の充実

- 1 古典に関する資料や図版をテーマごとに図録としてまとめた。その際、生徒が課題について探究しながら古典と現代のつながりの理解をさらに深められるよう配慮した。また、説明に模型や写真を多用し、古典の世界を視覚的かつ具体的に理解できるよう配慮した。
- 2 付録には「古典文法のまとめ」や「古典文学史年表」のほか、日本のことわざ・慣用句や故事成語の一覧を設け、古典の言語文化が現代まで受け継がれていることを実感させ、生徒の言語生活にも資するよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容							該当箇所	配当 時数
	(1)指導事項				(2)言語活動例				
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ		
〔古文編〕									
今昔物語集（安倍晴明）	○	○	○	○			○	pp. 8-9	
展開 陰陽師	○	○	○	○			○	pp. 10-11	
宇治拾遺物語（小野篁広才のこと/検非違使忠明のこと）	○	○	○	○			○	pp. 12-15	
十訓抄（大江山いくのの道）	○	○	○	○			○	pp. 16-17	
古典の窓1 おもしろい話を探そう		○	○					p. 18	
枕草子（すさまじきもの/木の花は/中納言参りたまひて/二月つごもりごろに/九月ばかり/野分のまたの日こそ/この草子、目に見え心に思ふことを）	○	○	○	○			○	pp. 20-31	
方丈記（行く河の流れ/安元の大火）	○	○	○	○			○	pp. 32-35	
徒然草（家居のつきづきしく/名を聞くより/世に語り伝ふること/今日はそのことをなさんと思へど/丹波に出雲といふ所あり/断章三編）	○	○	○	○			○	pp. 36-43	
古典の窓2 「独り居て心に浮かぶこと」		○	○					p. 44	
竹取物語（かぐや姫の昇天）	○	○	○	○				pp. 46-51	
伊勢物語（初冠/月やあらぬ/関守/つひにゆく道）	○	○	○	○			○	pp. 52-57	
大和物語（をばすて）	○	○	○	○			○	pp. 58-60	
源氏物語（桐壺/若紫/葵/須磨/若菜上/御法）	○	○	○	○			○	pp. 62-67 pp. 70-91	
展開 長恨歌	○	○	○	○			○	pp. 68-69	
大鏡（雲林院の菩提講/花山院の出家/道真左遷/三船の才/競べ弓/鶯宿梅）	○	○	○	○			○	pp. 92-110	
平家物語（忠度都落ち/能登殿最期）	○	○	○	○	○	○		pp. 112-119	
展開 忠度	○	○	○	○			○	pp. 120-121	
西鶴諸国ばなし（大晦日は合はぬ算用）	○	○	○	○				pp. 122-125	
雨月物語（浅茅が宿）	○	○	○	○			○	pp. 126-131	
古典の窓3 物語の作者像を探る		○						p. 132	
土佐日記（阿倍仲麻呂の歌/白波）	○	○	○	○				pp. 134-135 pp. 138-139	
展開 哭晁卿衡/古今和歌集/今昔物語集	○	○	○	○			○	pp. 136-137	
蜻蛉日記（町の小路の女）	○	○	○	○				pp. 140-142	
和泉式部日記（薫る香に）	○	○	○	○				pp. 143-145	
紫式部日記（和泉式部と清少納言）	○	○	○	○				pp. 146-147	
更級日記（あこがれ/源氏の五十余巻）	○	○	○	○				pp. 148-151	
十六夜日記（駿河路）	○	○	○	○			○	pp. 152-154	
古典の窓4 自己の人生を見つめる		○	○	○				p. 154	
〔古典に親しむ〕									
春と秋——古典歳時記	○	○	○	○			○	pp. 156-159	
日本語に生きる漢語	○	○	○	○			○	pp. 160-164	
〔漢文編〕									
知音	○	○	○	○				p. 166	
画竜点睛	○	○	○	○				p. 167	
漱石枕流	○	○	○	○				p. 168	
不死之薬	○	○	○	○				p. 169	
売油翁	○	○	○	○			○	pp. 170-171	
古典の窓5 故事成語を活かす		○	○					p. 172	
鴻門の会（沛公 項王に見ゆ/樊噲目を瞋らして項王を視る）	○	○	○	○			○	pp. 174-180	
項王の最期（四面皆楚歌す/我 何の面目ありて之に見えん）	○	○	○	○			○	pp. 181-185	
展開 鴻門の会	○	○	○	○				pp. 186-187	
古典の窓6 司馬遷と『史記』		○	○					p. 188	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容							該当箇所	配当 時数
	(1)指導事項				(2)言語活動例				
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ		
漢詩（竹里館/秋浦歌/江南春/春夜/送友人/月夜/咸陽城東樓/桃夭/石壕吏）	○	○	○	○	○	○		pp. 190-197	
古典の窓7 古体詩に親しむ		○	○					p. 198	
定伯売鬼	○	○	○	○				pp. 200-201	
桃花源記	○	○	○	○	○	○		pp. 202-205	
展開 古譚	○	○	○	○			○	pp. 206-208	
孔子と門人たち（賢哉回也/過猶不及/暴虎馮河/聞斯行諸）	○	○	○	○				pp. 210-213	
人の性（不忍人之心/人之性悪）	○	○	○	○				pp. 214-217	
展開 性猶湍水也	○	○	○	○		○		p. 217	
自然への回帰（小国寡民/曳尾於塗中）	○	○	○	○				pp. 218-219	
法治の思想（侵官之害）	○	○	○	○			○	pp. 220-221	
古典の窓8 諸子百家		○	○					p. 222	
百人一首		○	○		○			pp. 241-242	